



# 第28回 藤木祭

生誕130年

山の日関連行事

日時 平成29年10月1日(日)午後1時から  
場所 芦屋・高座の滝前広場(雨天決行)

主催 (公社)日本山岳会関西支部  
(一社)大阪府山岳連盟  
兵庫県山岳連盟  
主管 藤木祭実行委員会  
後援 芦屋市  
近畿地区山岳連盟

## 第28回 藤木祭式次第

- |         |            |       |
|---------|------------|-------|
| 1 開会の言葉 | 兵庫県山岳連盟    | 森川 列  |
| 2 主催者挨拶 | 兵庫県山岳連盟 会長 | 中西 研一 |
| 3 来賓挨拶  | 芦屋市長       | 山中 健  |

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 4 お話し『六甲山の植生』 | 神戸大学名誉教授 武田 義明   |
| 5 ご遺族ご挨拶      | 藤木 高嶺            |
| 6 コーラス        | アシヤユースコーラス       |
| 7 合唱「雪山賛歌」    | 出席者全員            |
| 8 閉会の言葉       | 日本山岳会関西支部長 金井 良碩 |

## 開催の趣旨

藤木九三氏は、RCCの設立、岩場の開拓を始め岩登り技術の基礎づくりをされ、多くの登山家を育てられました。またロックガーデンの名付け親とされ、山岳詩人として優れた詩や著書を残されています。勤務された朝日新聞社では、登山の指導教育、登山行事の主催や後援、海外登山隊への援助など、登山界の発展に寄与された、わが国を代表する登山家であり、指導者でした。

この大きな功績と人柄を慕い、レリーフの建設が考えられたのは、昭和36年頃です。当時日本山岳会関西支部長であった津田周二氏を中心として、山岳連盟、RCCの方々が世話人会を結成され、約400名の方々から67万円の寄付金を得て建設されたものです。

レリーフの製作は日本山岳会員で彫刻家の佐藤久一郎氏が担当され、昭和38年5月12日に藤木先生も出席され、約200人の岳人が集い盛大に除幕式が行われました。関西の山仲間が年1回レリーフの前に集まり、旧交を暖め藤木先生をはじめ岳友を偲び、登山の発展と安全を祈る場として、今後も継続されることを祈願しています。

## 藤木祭記念ハイキング

集合 平成29年10月1日(日)集合 午前9時  
場所 阪急芦屋川駅山側・芦屋川左岸  
コース 阪急芦屋川駅～山手中学校～会下山遺跡～蛙岩～出合～風吹岩～横池～高座谷左岸～高座の滝  
担当 兵庫県山岳連盟 大阪府山岳連盟

## 藤木九三氏略歴

1887年(明治20年)9月30日生まれ

1970年(昭和45年)12月11日死去

福知山市で薬種商を営む、藤木喜兵衛氏の6男として生まれ、京都府立三中(現福知山高校)より早大に進学、大正4年朝日新聞社に入社、大正14年滝谷の初登攀に成功。大正15年ヨーロッパアルプスや、イギリスの岩場を登る。「屋上登攀者」をはじめ多くの著書がある。

## 第29回藤木祭(次回)は

平成30年9月30日(日)実施

## 雪山賛歌

作詞 西堀栄三郎 作曲 P・モントローズ

1. 雪よ岩よわれらが宿り  
俺たち町には住めないからに  
俺たち町には住めないからに
2. シールはずしてパイプのけむり  
輝く尾根に春風そよぐ
3. けむい小屋でもこがねのごてん  
早く行こうよ谷間の小屋へ
4. テントの中でも月見はできる  
雨が降ったらぬれればいいさ
5. 吹雪の日にはほんとうにつらい  
ピッケル握るに手がこごえるよ